



## UFPFF 国際平和映像祭2011 事業実施計画書

開催期間: 2011年9月11日(日)から9月21日(水)

主催 : 一般社団法人 国際平和映像祭

<http://www.ufpff.com>

2011.7.30版



「ひきつける」カタチ

「ひとつになる」カタチ

UNITED FOR PEACE.

それは紛れもなく、  
平和のためにひとつになること。  
青いU字型の磁石は、  
人々をひきつけるきっかけとなり、  
ひとつになっていくカタチです。

平和で持続可能な社会の実現のため、世界の共通言語である映像を使い、ピースディ(国際平和の日) 9月21日に毎年開催する学生を対象とした映像コンペティションです。

# 開催概要

## 実施概要

映像テーマ: 平和またはサステナビリティ

対象 : 学生(学生とは3ヶ月以上の教育課程に在学する児童、生徒、学生)

言語 : 日本語でない言語を使う場合は日本語字幕、または英語字幕を付けること

募集期間 : 2011年5月31日締切り

大賞 : 世界一周ドキュメンタリー取材の旅(世界一周チケット、提供 H.I.S.)

その他賞: ピースポート賞/世界一周の船旅(映像スタッフとして乗船)

地球の歩き方賞/ユーレイルグローバルパス(審査会当日最も得票を得た作品)

※大賞受賞者の作品は翌年の映像祭で招待上映

オープニングイベント: 9月11日、ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3階

審査会会場: 9月21日、横浜BLITZ(横浜市)

運営 : 一般社団法人 国際平和映像祭

協賛: 株式会社フォーバル

ほか個人協賛サポーター

後援: 横浜市文化観光局

国際協力機構(JICA)

協力: なんとかしなきゃ! プロジェクト

メディアパートナー:

greenz.jp、ヨコハマ経済新聞、イーココ

ロ!

事務局: ユナイテッドピープル株式会社

## UFPFF 国際平和映像祭 2011 審査員

大久保 秀夫 (公益財団法人CIESF(シーセフ) 理事長)

川崎 哲 (ピースポート共同代表)

金 大偉 (映像作家、音楽家)

澤田 秀雄 (株式会社エイチ・アイ・エス 会長)

篠原 勝弘 (前カンボジア国駐筋特命全権大使)

高橋 克三 (前日本映画学校 理事 駒澤大学 非常勤講師)

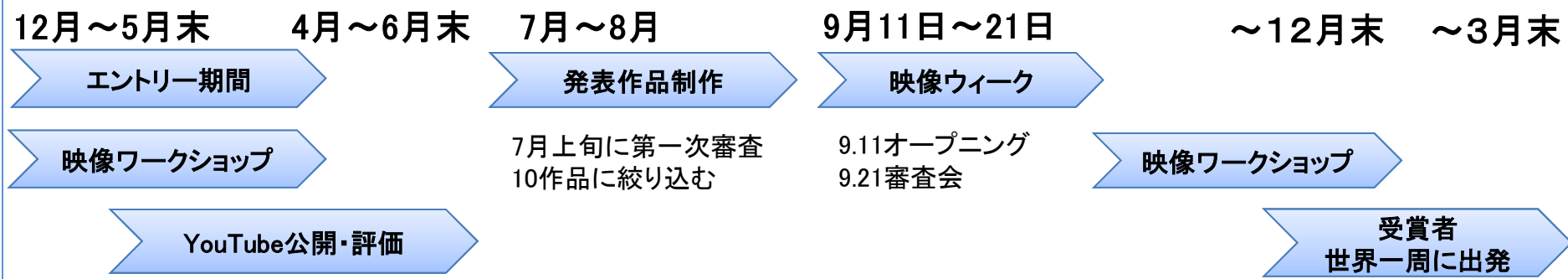
龍村 ゆかり (地球交響曲ガイアシンフォニー プロデューサー)

野中 ともよ (特定非営利活動法人ガイア・イニシアティブ 代表理事)

## 狙い

誰の心にも届きやすい「映像」を手段として、「平和と持続可能な社会づくり」をテーマとした作品の発表の場を作り、次の世代を担っていく若者をつないでいき、平和の礎をつくるのが目的です。

UFPFF 国際平和映像祭はピースディ(国際平和の日)9月21日に毎年開催してまいります。初回である今年は、9.11から10年、3.11(東日本大震災)から半年後である9月11日をオープニング日として開催します。



# UPFFF2011 ワークショップ開催の様子

想いはあるが、映像製作の経験がない方のために、現役のテレビディレクターやカメラマンの方などを講師に、2011年2月11日関東学院大学でワークショップを開催。この他、Apple Store 銀座でのトークイベント&ワークショップを開催しました。



## ■講師

某制作プロダクション ディレクター

これまでに「世界ふしぎ発見!」「情熱大陸」、ドラマ、BS旅番組など多数演出

## ■方針

- ・誰でも手軽に編集ができることを示す
- ・受講者1人1人が、編集を通じて、多様な見せ方と面白さがあることを体験してもらう

# UPFFF2011 応募作品のご紹介

2011年5月末までに集まった31作品の一部をご紹介します。全国の学生から、一部は海外から、思い思いの作品が集まりました。7月上旬に第一次審査会を開催し、13作品に絞り込みました。

<http://www.ufpff.com/archives/902>

## No.21 「被爆アオギリ」ワシントンへ渡る

5月 9th, 2011 | No Comments >



Facebookにアカウント登録して、友達の「いいね！」を見てみましょう。

3  
tweets

retweet



### 作品内容

#### 応募者からのメッセージ

20年来の友人のシンガーソングライター、中村里美さんが「被爆アオギリ」2世の苗をワシントンに植樹すると聞いたのが、作品をつくるきっかけでした。広島で被爆した沼田鈴子さんは、60歳を過ぎてから「語り部」になりました。沼田さんの「二度と被爆者を出してはいけません」という思いが少しでも伝われば幸いです。

## No.10 一〇〇〇羽の鶴 – Las 1000 grullas – UFPFF2011

5月 6th, 2011 | No Comments >



21人が「いいね！」と言っています。  
Facebookにアカウント登録して、友達の「いいね！」を見てみましょう。

2  
tweets

retweet



### 作品内容

MUSIC: Improvisation when spring is in winter – Stefano Mocini Margaret Yang's Theme – Mark Mothersbaugh 4 Moments (Reprise) – Keffy Kay

3月11日の東関東大震災において、マドリッド在住の友人瀬々真紀子さんが、日本にいる全ての人たちに向けて、あるプロジェクトを立ち上げました。心の面から寄り添うことを目的とした「一〇〇〇羽の鶴プロジェクト」です。この作品では、そのプロジェクトがどのようなアイデアに基づいているのか、そしてどのように世界の人たちに東北をはじめ日本へ目を向け続けてもらうのかを描きました。僕たちに今でも届く何千もの鶴たちがこの願いを叶えてくれますように。この作品の数分間だけでも、支えを必要とする全ての人々を元気づけることができれば、と思います。

# UPFFF2011 応募作品のご紹介

9月21日(ピースデイ)の審査会当日までに、ファイナリスト13名は作品をブラッシュアップ。当日、審査会場で上映と審査員とのディスカッションを行います。

## No.13【UPFFF2011】Movie For Japan 予告編

5月 6th, 2011 | [No Comments](#) »

いいね!

5人が「いいね!」と言っています。Facebookにアカウント登録して、友達の「いいね!」を

2  
tweets

retweet



### 作品内容

Click CC to watch with English subtitles! 東北地方を中心に日本は、この度の東北地方太平洋沖地震により甚大な被害を受けました。直接的な地震の被害に加え、それに伴うお金・時間・機会の損失、さらに原発事故による風評被害など長期的な問題が拡大・深刻化する様相を見せています。そこで、私たちは日本の商品・サービスの応援に焦点を当てた作品を制作することで、復興支援の一助にしたいと考えました。

私たちは、この映像を私たちの活動の宣言、予告篇として作成しました。海外からのメッセージをまとめた作品を6月に、それに対する日本からのレスポンスムービーを7月に公開する予定です。

## No.11CROSS ROAD【UPFFF2011】

5月 6th, 2011 | [No Comments](#) »

いいね!

4人が「いいね!」と言っています。Facebookにアカウント登録して、友達の「いいね!」を

4  
tweets

retweet



### 作品内容

カンボジア、タイ国境付近の村「タサエン」。この村にはまだ多くの地雷が残り、住民達の生活を脅かしている。その地雷の多くはカンボジアを二分した30年前の内戦時に、この村の住民達が自らの手で埋めたものである。今、地雷をめぐって住民達それぞれの道が交わる。この地雷原のある村に咲く、「平和という花」「笑顔」。

開催期間: 9月11日から9月21日

9.11 UFPFF オープニングイベント



ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3階  
横浜市中区本町6-50-1  
募集: 200人

9.21 UFPFF 審査会



横浜BLITZ  
横浜市西区みなとみらい5-1-3  
募集: 500人



左記に加え、ピースディ(国際平和の日)を作る課程を追ったドキュメンタリー“THE DAY AFTER PEACE”も全国上映。  
動員: 800人

ファイナリストによる映像作品を13作品集めたDVDを、上映希望者に送付。  
※上映料1万円。収益が出た場合はご寄付をお願いします。

**合計1,500人の動員見込み**

9.11-21の11日間、日本全国で「ピースディ」に合わせ、また、国際平和映像祭開催に合わせ、“THE DAY AFTER PEACE”とファイナリスト作品を上映展開。全国で平和について考えます。

# 9月11日 UFPFF オープニングイベント

**UFPFF** UNITED FOR PEACE  
FILM FESTIVAL  
国際平和映像祭

9. 11-21に開催するUFPFF 国際平和映像祭のオープニングイベントを横浜市のヨコハマ創造都市センターにて開催。9. 11から10年。3. 11から半年。UFPFF国際平和映像祭の出航を祝うと同時に、過去から未来へと平和が続いていくことを祈ります。

## ●プログラム UFPFF 国際平和映像祭オープニングイベント 「9.11, 3.11を乗り越えて、未来へ」

2011年9月11日(日)午後4時半～8時

<第1部> 基調講演： 土井香苗／ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表、弁護士

<第2部> UFPFF 国際平和映像祭2011について

1. UFPFF 国際平和映像祭 開催の挨拶 … 国際平和映像祭代表理事 関根健次
2. 発起人代表挨拶 … 株式会社フォーバル 代表取締役会長 大久保秀夫

<第3部> 交流会

スペシャル音楽ライブ&トーク… 鈴木重子／ヴォーカリスト・Breath for Peace 発起人



ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3階  
横浜市中区本町6-50-1

<参加費> ワンドリンク付き

事前申込:

一般3,500円、学生2,000円

当日:

一般4,000円、学生2,500円

募集人数: 200名



土井香苗(どいかなえ)／国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表、弁護士

1975年8月神奈川県生まれ。1996年に司法試験に合格後、大学4年生の時、NGOピースボートのボランティアとして、アフリカで一番新しい独立国・エリトリアに赴き、1年間、エリトリア法務省で法律作りのお手伝いのボランティア。その後、1998年東京大学法学部卒。2000年司法研修所終了。2000年から弁護士。普段の業務の傍ら、日本にいる難民の法的支援や難民認定法の改正のロビーイングやキャンペーンにかかわる。2006年6月米国ニューヨーク大学ロースクール修士課程終了(国際法)。2007年、米国ニューヨーク州弁護士。2006年から、国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチのニューヨーク本部のフェロー。2007年から日本駐在員。2008年9月から日本代表。2009年4月に東京オフィスを明治大学駿河台キャンパス内に設立。

2010年4月よりCS朝日ニュースター「ニュースの深層」のキャスター、2011年3月からはテレビ朝日「サンデーフロントライン」のニュース選定委員も務める。2010年エイボン女性賞受賞。2011年Yong Global Leader (YGL)。著書に「巻き込む力 すべての人の尊厳が守られる世界に向けて」(小学館 2011年)、「“ようこそ”といえる日本へ」(岩波書店 2005年)、「テキストブック 現代の人権 第3版」(日本評論社 2004年)など。



鈴木重子／ヴォーカリスト・Breath for Peace 発起人

ヴォーカリスト。いのちの響きを紡ぐ歌い手。静岡県浜松市に生まれる。母の腕の中で聴いた子守唄。あの優しい響きが、歌声に触れたはじまり。幼い頃からピアノや声楽に親しみ、高校時代は軽音楽部にてベースを担当し、合唱とバンド活動にいそしむ。東京大学在学中にボサノヴァ、ジャズヴォーカルを本格的に学ぶ。司法試験への挑戦とジャズクラブでの活動を続けながら、自身の歩む道を模索。「本当に好きなことをして、限りある人生を生きよう」とヴォーカリストの道を選択。

1995年メジャーデビュー。ニューヨーク「ブルーノート」で日本人ヴォーカリストとして初のライブ公演を行う。以後、多くの作品を発表。国内の活動にとどまらず、アジア各地やニュージーランド等の海外公演も行う。また、学校など教育現場でのコンサートやシンポジウムにも、招かれている。さまざまなジャンルの曲を、独自のスタイルで表現し、ワン・アンド・オンリーの世界を確立。聴き手のこころを静かな場所へといざなう澄んだ歌声は、多くの人々から愛されている。すべての生命に響き合う唄を求めて、病院、福祉施設などに活動の場を広げている。2011年、「浜松市教育文化奨励賞 浜松ゆかりの芸術家」受賞。

# 全国でイベント開催(9.11-9.21)

**UFPFF** UNITED FOR PEACE  
FILM FESTIVAL  
国際平和映像祭

映像祭ウィークの9月11日～9月21日の間、ファイナリスト作品の上映と、ピースディ(国際平和の日)を作ったジェレミー・ギレイ(Jeremy Gilley)さんのドキュメンタリー“ザ・デイ・アフター・ピース”を日本全国で上映します。

ある日、一人のイギリス人の俳優が立ち上がった。俳優の仕事に飽き飽きしていたころ、彼はもんと世界のニュースを眺め、思っていた。なぜ人は殺しあうんだろう。なぜ、戦争や紛争はなくなるんだろうかと。1998年のことだった。何も出来ない自分にフラストレーションがたまっていった。何かをしたいと思った。

調べるうちに、平和の日「Peace Day」がないことを知る。そこで、彼、ジェレミー・ギレイ(Jeremy Gilley)は平和の日をつくることを決意する。国連に乗り込み、高官を説得。国連の協力を得て、世界中の子ども、学生、NGO活動家、国家首脳などと議論し、支援を増やしていく。

ダライ・ラマ法王が共感し、ダライ・ラマが世界の首脳宛に平和の日「Peace Day」を応援して欲しいと手紙を書く。その手紙が次の道を切り拓く。ジェレミーの旅は奇跡の連続だ。人が不可能と思えることを、やってのける。不屈の精神で。強い信念で。彼は言う、個人の力の大きさに気づいて欲しいと。

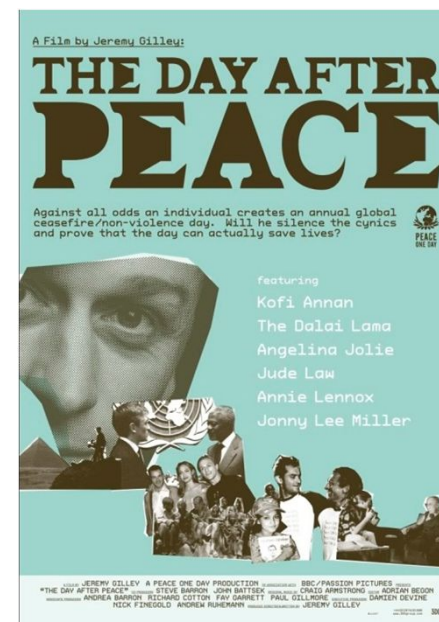
イギリスと、エクアドルを提案国として、ついには国連の理事会で毎年9月21日を「Peace Day」を制定してしまう。すべての国連加盟国が賛同した。この日本も。「Peace Day」が制定されたのは2001年9月7日。奇しくも9.11の数日前のことだった。9.11当日の朝には、セレモニーの準備をしていた。

“ザ・デイ・アフター・ピース”は、ピースディを成立後、実際に停戦を呼びかけるためにジュード・ロウと共に、アフガニスタンに向かうところまでを記録したドキュメンタリーである。

88分／イギリス／英語・日本語字幕／監督:ジェレミー・ギレー

出演:

ジェレミー・ギレー、ダライ・ラマ・ジュード・ロウ、アンジェリーナ・ジョリー、アニー・レノックス



# 国際平和映像祭 2011 審査会

**UFPFF** UNITED FOR PEACE  
FILM FESTIVAL  
国際平和映像祭

開催日時: 2011年9月21日(ピースデイ) 午後3時半~8時半

## 内容

(1) スタートアップ! ファイナリスト作品発表

### 開場

オープニングアクト: 太鼓(太鼓笑人めでたい) × 映像パフォーマンス(金 大偉)

UFPFF開幕・ファイナリスト13名紹介スライド

ファイナリスト6作品上映 × 審査員の質疑応答

ファイナリスト7作品上映 × 審査員の質疑応答

休憩・投票・交流タイム

(2) トークセッション 平和はどうしたら実現できるのか?

基調講演: 日本紛争予防センター 瀬谷ルミ子

トーク: United People 関根健次 × HASUNA 白木夏子  
× テラルネッサンス 鬼丸昌也

休憩

(3) グランプリ他受賞者発表

授賞式

審査員の方々からのコメント・メッセージ

総括: 特別顧問・発起人代表 フォーバル会長 大久保

(4) 9. 21 ピースデイ・セレモニー

ライブ: ZIN-SIL

招待上映「BELLA GAIA」

代表理事 関根健次 閉幕の挨拶

エンディングセレモニー

基調講演 / 瀬谷ルミ子 JCCP(認定NPO法人 日本紛争予防センター) 事務局長

1977年 群馬県生まれ。1999年 中央大学総合政策学部卒業。2001年 英ブラッドフォード大学紛争解決学修士課程修了。ルワンダ、アフガニスタン、シエラレオネ、コートジボワール等で国連PKO、外務省、NGOの職員として勤務。2007年より現職。専門は紛争後の復興、平和構築、治安改善(SSR)、兵士の武装解除・動員解除・社会再統合(DDR)など。国連PKOやアフリカ地域平和維持軍、警察、文民職員の訓練講師を務める。第二回秋野豊賞受賞。

2011年ニューズウィーク日本版「世界が尊敬する日本人25人」に選ばれる。



会場: 横浜BLITZ

所在地: 横浜市西区みなとみらい5-1-3

電話: 045-640-4900

入場料:

前売り2,000円

当日・学生2,500円

当日・一般3,000円

募集人数: 500名



# 協賛スポンサー募集

## 法人スポンサー: 1口10万円 より

※法人協賛締切8/5

提供メリット: UFPFFオフィシャルサイトでのスポンサー名表示(ロゴ)

9.21審査会パンフレットにてスポンサー名表示(ロゴ)

9.21ちらしにてスポンサー名表示(1万枚発行)

9.11, 9.21へのご招待(口数x2人)

資料配布

1口以上... BRONZE SPONSOR

3口以上... SILVER SPONSOR

9.21パンフレット、中ページ(A4) 枠のご提供

5口以上... GOLD SPONSOR

資料/サンプル配布(9.21入り口にて、手渡し可能)

9.21パンフレット、中ページ(A4)枠のご提供

10口以上... PREMIERE SPONSOR

資料/サンプル配布(9.21入り口にて、手渡し可能)

9.21パンフレット、メインページ(A4)枠のご提供(裏面1ページ)

会場大型ビジョンでのスポンサー表示/1社単独 ほか応相談

## 個人スポンサー: 1口1万円 より

※個人協賛締切8/31

提供メリット: 9.21審査会パンフレットにてお名前表示。

9.11, 9.21へのご招待(口数x1人、最大6名まで)

# 運営組織について



UFPFF 国際平和映像祭は、一般社団法人 国際平和映像祭が運営しています。

団体名：一般社団法人国際平和映像祭 設立：2011年5月2日  
所在地：横浜市中区北仲通3-33 関内フューチャーセンター内  
事務局：千葉県いすみ市岬町榎沢1021-5 ユナイテッドピープル内

特別顧問／発起人代表：

大久保 秀夫（株式会社フォーバル 代表取締役会長）

顧問：

酒井捷八（モントルーサウンズ・エンタテインメント代表取締役）

柳沢富夫（有限会社ラウンドテーブルコム CEO）

代表理事：

関根 健次（ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役）

理事：

高橋 克三（日本映画学校 理事 駒澤大学 非常勤講師）

呼びかけ人：

ピーター・バラカン

※UFPFFはユナイテッドピープル株式会社が事務局を担当しています。

# 理事プロフィール・事務局紹介



## 代表理事・プロデューサー

### 関根 健次

1976年生まれ 神奈川県藤沢市出身 ベロイト大学経済学部卒業(アメリカ)  
ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役。一般社団法人国際平和映像祭代表理事。高校卒業後、アメリカの大学へ進学。卒業後、帰国し、主にIT業界に身を置く。2002年に起業。大学の卒業旅行で偶然紛争地訪問したことがきっかけで、世界の問題解決を目指す事業を開始。2003年5月にNGO/NPO支援のための募金サイト、「イーココロ！」を立ち上げる。著書に「ユナイテッドピープル」2008年3月にネットで署名活動ができる署名TVをリリース。2009年11月より、映画配給事業を開始。第2回「ソーシャル・ビジネス・アワード」にてマイクロソフト奨励賞受賞。



## 理事・プロデューサー

### 高橋克三

武蔵野美術大学卒

学校法人東放学園 広報部長、同キャリアサポートセンター長、映画専門大学院大学設立準備委員会 代表、学校法人東放学園大学 理事、学校法人神奈川映像学園 広報部長、日本映画大学設置準備室 次長、東京芸術大学大学院 非常勤講師 などを経て現在は、学校法人神奈川映像学園 理事、駒澤大学 非常勤講師。二つの大学の設立の主軸として働きました。所属している学会・団体：日本映像学会、日本アカデミー賞協会会員

著作：「音楽の全仕事」「テレビ・ラジオ・芸能の全仕事」「映画・アニメ・CMの全仕事」編集長(ぴあ発売)。理論社のメディア業界ナビ「テレビ局・ラジオ局64の仕事」「映画・CM65の仕事」「芸能プロダクション64の仕事」のシリーズ構成。「デジタルコンテンツ制作入門」共著(オーム社)

UFPFF国際平和映像祭はこのほか、多数の有志ボランティアが運営に関わっています。

<http://www.ufpff.com/member>

## 事務局：ユナイテッドピープル株式会社

UFPFF 国際平和映像祭の運営事務局はユナイテッドピープル株式会社が担当しています。ユナイテッドピープルは、2002年7月に創業。人と人をつないで世界の問題解決を目指すソーシャルベンチャー企業で、ネット募金サイト「イーココロ！」、ネット署名活動サイト「署名TV」などの運営や、映画配給事業として世界の社会派ドキュメンタリー映画を中心に配給宣伝。



## 参考資料:UFPFF 国際平和映像祭発表イベントの様子

2010年11月3日に東京都広尾、JICA地球ひろば講堂にて、UFPFF 国際平和映像祭発表イベントを開催しました。200名募集に255名が詰めかけ大盛況でした。



左から審査員大久保さん、代表理事 関根、審査員野中さん、理事・審査員高橋

イベント内容：  
映画上映／トーク／音楽ライブ／UFPFF 国際平和映像祭発表

